

THE IEC TIMES

Summer Program MAHOROBA

JULY 7—JULY 17, 2019

サマープログラム第一弾「MAHOROBA」(英語プログラム)に20名の留学生が参加！



Schedule

- 東大寺見学(7/9)
- 興福寺見学(7/10)
- 書道体験(7/10)
- English Café(7/10)
- ならまち見学(7/11)
- ホームステイ体験(7/12~14)
- 天川村フィールドトリップ(7/15)
- 奈良の文化・歴史、現代日本文化・仏教・教育についての講義(7/8~12)
- 奈良女生との交流(7/8~16)
- 最終プレゼンテーション(7/16)

Students from...

レスター大学(イギリス)3名、ルーヴェン大学(ベルギー)3名、チェンマイ大学(タイ)3名、ハノイ外国語大学(ベトナム)3名、香港シティー大学(香港)5名、リーハイ大学(アメリカ)2名、スキッドモアカレッジ(アメリカ)2名

2019年度のMAHOROBAプログラムは、“Past and Present of NARA”をテーマとし、全プログラムを英語で実施しました。古都・奈良の有する歴史と文化を学ぶとともに、昔ながらの伝統が現在にどのように受け継がれ、現代文化にどのような影響を与えているのかについて、数々の講義と見学活動を通して体験しながら学習しました。計11日間のプログラムに、今年度は海外協定校だけでなく、非協定校からも学生を迎え、計21名の学生が参加しました。

講義では、「観光都市としての奈良県の取り組み」、「温泉文化」、「少女漫画とジェンダー」、「現代日本文学に奈良が与えた影響」、「日本の宗教と仏教」などについて奈良女子大学教授陣をはじめ、各分野のプロの方々を講師としてお招きし学習を深めました。同時に、東大寺・興福寺・ならまちなど、大学から徒歩圏内の世界遺産を訪れ、実際に見て触れて体験しながら、奈良の歴史について学びました。

奈良女子大学の学生とも交流を深めました。歓迎会では奈良女子大学の学生が様々な企画を準備し、当日の運営も行いました。歓迎会を通じて仲良くなった留学生と、授業後に食事を共にしたり、カラオケに行ったりするなど、友情を深めました。今年オープンしたCotoQueでは、English Caféと題した交流の時間を設け、コミュニケーションツールとしての英語の重要性も実感することができました。



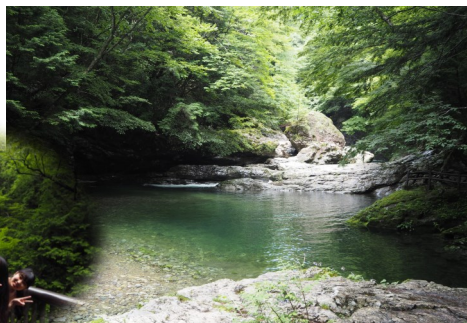
Highlights of MAHOROBA

Visit to World Heritage Sites in Nara

大学から徒歩圏内にある世界遺産、東大寺・興福寺・ならまちを見学しました。ガイドの説明を聞きながら、奈良の有する世界遺産とその歴史について学びました。東大寺では廬舎那仏の大きさに圧倒され、また柱くぐりにも挑戦しました。興福寺では五重塔をはじめとする精巧に造られた国宝の数々を見学し、当時の技術の高さに感銘を受けたようでした。ならまちでは昔ながらの街並みを興味深く眺めながら、当時の人々の生活に思いを馳せました。

Field Trip to Tenkawa Village

フィールドトリップでは、奈良県南部の天川村を訪問しました。現地では1時間ほどかけて、みたらい溪谷までのハイキングコースを歩きました。雨の後だったため滑りやすく、予想よりも険しい道のりでしたが、木々に囲まれた豊かな自然の中を歩くのは非常に気持ちがよく、歩いた後に見られた溪谷の景色も感動的な美しさでした。みたらい溪谷の後には、洞川温泉街を散策し、五代松鍾乳洞にも入りました。鍾乳洞の近くで湧出している「ごろごろ水」という水は、とても冷たくて美味しく、身体に染みわたるようでした。市内とは全く違った、豊かな木々と美しい水に囲まれた中で一日を過ごし、奈良の新しい面を見ることができました。



<Comments from Students>

-The field trips to Todaiji, Kofukji, Nara Machi and Tenkawa village are quite satisfactory to me. I find the trip to Nara Machi most interesting because we saw both traditional and modern elements of Japanese culture.

-The field trip were so much fun! I got to know more about Japanese culture by witnessing the architecture and understanding the ideology of Buddhism and Shinto as well. It was great to explore Nara and learn the culture!

Homestay Experience

7月12日(金)～14日(日)にかけてホームステイ体験をしました。ホームステイ前は、緊張のあまり言葉少なに出かけていった留学生たちでしたが、帰寮後は嬉々としてホームステイ中にしたことを教えてくださいました。お寺やショッピングモールに連れていってもらったり、各ご家庭で手料理をごちそうになったり、子どもたちと仲良くなったりと、非常に充実した3日間を過ごせたようです。ホストファミリーのみなさまの温かいお心遣いとおもてなしに感謝申し上げます。ありがとうございました！

English Café at CotoQue

大会館2階にオープンした国際空間CotoQueにて、留学生と奈良女子大学生が交流する時間を設けました。英語を使ってコミュニケーションを取りながら、お互いの国の大学生活や、流行しているもの、放課後の過ごし方などについて自由に話をしました。会話が弾み、1時間という時間があっという間に終わってしまいました。これをきっかけに仲良くなった留学生と食事や遊びに行くなど、大学外でも交流を継続することができそうです。



Final Presentation

最終日には、グループプレゼンテーションを行いました。“What is JAPANESE culture?”をテーマとし、「寺院と宗教」「観光都市奈良」「教育と大学生活」「言語と文化」「日本の家庭生活」の6つのテーマに従い、このプログラムでの学びと気づきを含め、留学生自身の文化とも比較しながら、日本の文化を定義しました。プログラム中に撮影した写真も用いて、趣向を凝らしたプレゼンテーションが完成しました。



Comments from Participants

-Thank NWU for giving me this chance, the program will become one of my most unforgettable memories. I made many new friends and got to know more about other cultures from our housemates and classmates. Thank you for everything!

-Very valuable and impressive program, give me a unforgettable memory. Also, during this program, I deepen my understanding towards Japan, Japanese, and Japanese culture.

-I am very thankful for having the opportunity to study at Nara Women's University. I can honestly say that this programme is the best thing / experience I have ever had.

-I just love this program and thank you so much for giving me this chance to join and learn more about Nara and Japan!

Messages to Host Family!

-I appreciate the homestay experience. I've never experienced such hospitality in my lifetime. I would definitely come back to Nara to visit my host family in the future.

-It's awesome, and it's hard for me to say goodbye to them.

-I have had one of the most impressing experience through home staying. My host family was so hospitable and caring that I felt being loved and being home.

-I think it is the vest experience I could ever have, as a foreigner here in Japan. The family's hospitality did my heart melt, and I feel like I have a little home now here in Japan. I cannot recommend this enough!!!

第二弾「万葉」プログラムの様子をご紹介

ならまち・平城宮跡見学

ならまち散策では、古い街並みを見学しながら、「ならまち格子の家」と「奈良町資料館」を訪れました。格子の家では、空間を余すところなく有効活用する技術（屋根裏部屋や扉の開閉の仕組みなど）に感銘を受けたようでした。身代わり申が軒下にぶら下がる街並みは珍しかったようで、しばしば足を止めては写真を撮る姿が見られました。また、平城宮跡にある「いざない館」にも見学に行きました。当時の朱雀門から宮中を再現した大きな模型を見たり、釘を使わずに木を組み立てる方法を体験したり、万葉仮名を使って自分の名前を表すとどうなるかを調べたりと、館内で体験を含めた学習をすることができ、有意義な時間を過ごすことができました。



(上)「いざない館」での見学の様子



(下)釘を使わない当時の建造物の組み立て方の体験

明日香村フィールドトリップ

奈良県の明日香村を訪れました。事前学習をした上で、石舞台・高松塚古墳・キトラ古墳・四神の館・飛鳥寺・飛鳥坐神社・犬養万葉記念館を巡りました。「四神の館」では、期間限定で特別公開されている、キトラ古墳南壁の「朱雀」を実際に見学するという貴重な機会に恵まれました。また、古墳発見から、壁画保護に至るまでの一連の作業を詳しく解説したフィルムやジオラマを熱心に見学し、遺跡の発掘と保護についての理解も深めることができました。奈良市内とは違った、緑豊かでのどかな田園風景を、留学生たちは楽しんでいました。

<留学生の感想>

- ・たくさん古墳を見て、日本や飛鳥時代の文化をもっと学びました。
- ・明日香村は一番興味深かったです。歴史文化と綺麗な景色があるところは最高です！



書道体験

書道体験では、先生のご指導のもと、各自が筆を持ち自分の好きな言葉を半紙に書きました。初めて書道を体験した留学生もいましたが、先生の丁寧な指導のおかげで、2時間でとても上達し、最後には花丸をつけてもらっていました。留学生たちは先生の巧みな筆遣いと美しい文字に感動していました。



留学生×奈良女生 交流活動

奈良女子大学学生が、「日本の伝統的な遊び」「日本のヒーロー像」について留学生に授業をしました。けん玉、かるた、だるま落とし、福笑い、すごろくなど、日本の伝統的な遊びを紹介し、実際にやってみました。一番盛り上がったのがかるたで、札を素早く取る留学生に負けまいと、白熱したゲームが繰り広げられました。歓迎会や送別会などでも、奈良女子大学生が工夫を凝らした出し物や演出で留学生と共に楽しみながら交流を深めました。



ホームステイ体験

8月2日(金)～4日(日)にかけて、ホームステイ体験を行いました。浴衣を着せてもらったり、お祭りや花火を見に連れてってもらったり、京都や淡路島など遠出に連れ出してくださったご家庭もあったようです。何より、各ご家庭で共に料理を作ったり、文化の違いについて会話がはずんだり、普段の日常生活の中に参加させてもらったことが、留学生にとって一番の経験になりました。温かいもてなしと気遣いをたくさんいただいて、留学生全員が、とても嬉しそうな表情で帰寮してきました。ホストファミリーのみなさん、どうもありがとうございました！

<ホストファミリーのみなさんへ>

- ・ホストファミリーの皆さんはとても親切でやさしかったです。はじめてだから、ちょっときんちょうしたが、皆さんに会えて、よかったです。
- ・とても良かったです！！！！
- ・おもしろくて楽しかったです。日本の家族と一緒に過ごしました。いろいろな活動と経験をもらいました。いい思い出できました！

国際交流センター通信 特別版

サマープログラム「万葉」(日本語)の様子をご紹介!

令和元年 7月26日(金)～8月7日(水)



↑明日香村 石舞台古墳にて

プログラム内容

- ・東大寺・興福寺見学(7/30)
- ・ならまち散策(7/31)
- ・平城宮跡見学(8/1)
- ・書道体験(8/1)
- ・ホームステイ体験(8/2～4)
- ・明日香村へフィールドトリップ(8/5)
- ・講義：奈良の歴史、温泉文化、万葉集、日本語言語学、日本の宗教
(7/29～8/2)
- ・奈良女子大学生との交流活動
(7/29～8/6)

海外協定大学の、東海大学(台湾)から4名、ベトナム国家大学ハノイ外国語大学(ベトナム)から3名、トリアー大学(ドイツ)から4名、ルーヴェン大学(ベルギー)から1名の計4大学12名の留学生が奈良を訪れました!

第二弾の「万葉」プログラムには、海外協定校から12名の学生が参加しました。参加留学生はそれぞれ日本語を学んでいる学生で、日本語の能力を高めることと、日本文化を学習することを目標に「万葉」プログラムに参加しました。東大寺・興福寺・ならまち・平城宮跡・明日香村へのフィールドトリップや、講義、ホームステイ、そして奈良女子大学生との交流活動など、充実した10日間を過ごしました。梅雨明けから急に暑さが厳しくなり、湿度の高い日本の夏の気候に慣れていない留学生にとっては、屋外の活動は非常に負荷のかかるものになりましたが、各自で自分自身の体調をよく管理しながら、全てのプログラムに意欲的に参加しました。

様々な講義の受講を通して、日本への理解を深めました。「万葉集」の講義では、日本最古の歌集の特徴を学習し、有名な詩歌を味わいました。授業の終わりには各自が気に入った詩歌の一つを選び、それについてのコメントを発表しました。また、「日本語言語学」の授業では、英語との相違点(指示語の違いやYesと「はい」の違いなど)を言語学の観点から分析し、留学生自身の母国語とも比較検討を行いました。他にも「温泉文化について」、「日本の宗教と仏教」、「奈良県の文化財保護の取り組み活動について」など様々な興味深いテーマの講義を受講し、自分自身の文化との比較を通して、日本についての理解をより深めることができました。



↑大学内での講義の様子。観光、言語学、仏教、万葉集など様々なトピックについて学習しました。
←ならまち散策では、ならま치의アイコンである「身代り申」を多く目にしました。

留学生の感想

- ・日本語を上達させる絶好の機会だったので、このプログラムはとても面白くて、楽しかったです。そして、多くの新しい人々に会って、彼らの国についてもっと学びました。私はこのプログラムに参加できて、とてもうれしいです。
- ・日本によく来たことがあっても新しい体験がいっぱいできて、とてもいいプログラムだと思います!
- ・プログラムに通じて、日本の文化がすきになりました。ほんとうにありがとうございました。
- ・楽しかったです。初めて奈良に行きましたが、このプログラムでいろいろ奈良についてのことをちゃんと勉強しました。観光名所に見ることだけではなくて、説明を通じて、よく了解しました。

奈良女子大学 国際交流センター
NEWS LETTER特別版 2019年9月発行
〒630-8506 奈良市北魚屋東町
TEL: 0742-20-3736 Email: iec@cc.nara-wu.ac.jp